



### (1) Kyushu University VISION 2030

九州大学が目指す「総合知で社会変革を牽引する大学」を実現するために策定したビジョン。指定国立大学法人の指定申請を契機に、九州大学の未来を担う若い教職員を含めた全学的な議論を重ねて得た今後10年間の大学の方向性、方針を示したもので、「ガバナンス」「DX」「教育」「研究」「社会共創」「国際協働」「医療」「財務基盤」の8つのビジョンからなる。

### (2) 2つの基盤組織とプラットフォーム

「未来社会デザイン統括本部」は、九州大学の研究上の強みである「脱炭素」「医療・健康」「環境・食料」の3領域を中心に、多様化・複雑化する社会的課題の解決に貢献する役割を担う。「データ駆動イノベーション推進本部」は、データ活用により分野を超えた新たな価値を発見・創出する総合知のプラットフォームとして機能し、データ駆動型の教育、研究、医療の展開と、未来社会のあるべき姿をDXの視点から提案する役割を担う。

「オープンイノベーションプラットフォーム」では、将来の課題探求から研究成果による社会実装までの道筋を産学官民の連携によって検討し、共同研究や大学発ベンチャーの創出拡大につなげ、九州大学の研究成果を社会に還元する。研究成果の社会への還元を加速化させるため、2024年4月に外部法人「九大OIP株式会社」を設立。

### (3) 研究成果の社会実装

九州大学が取り組む3つのエントリポイントでは研究成果の社会実装も進んでおり、「脱炭素」ではナノ分離膜を用いたCO<sub>2</sub>の回収・濃縮技術で、「医療・健康」ではマンナン被覆粒子を活用した次世代のアレルゲン免疫療法製剤開発などで、スタートアップを創出。「環境・食料」においても、低農薬・低肥料で高収量・高付加価値の次世代食料生産技術の社会実装に向け、スタートアップの設立を予定している。



また、国際社会のリーダーとなる人材を輩出するため、海外で研究活動を経験する研究留学の促進や、海外協定大学と九州大学の双方から学位を授与するダブル・ディグリープログラムのみならず、今年度から新たに

伊都キャンパスを「実証実験キャンパス」として、クリーンエネルギー社会実現に向け産学官連携によるさまざまな研究プロジェクトを実施しています。燃料電池自動車に代表さ

また、研究環境の改善などを目指し、2023年3月には、九州・沖縄地区の全11国立大学で構成する「九州・沖縄オープンユニバーシティ（KOUU）」を形成するとともに、沖縄科学技術大学院大学（OIST）とも連携協定を結び、研究力強化に向けた学術交流に取り組んでいます。

また、研究環境の改善などを目指し、2023年3月には、九州・沖縄地区の全11国立大学で構成する「九州・沖縄オープンユニバーシティ（KOUU）」を形成するとともに、沖縄科学技術大学院大学（OIST）とも連携協定を結び、研究力強化に向けた学術交流に取り組んでいます。

### 予測困難な時代だからこそ「総合知」を生み出す九州大学へ

社会的課題を解決するためには、個人がさまざまな学問分野の知見を深めることはもちろん、異なるバックグラウンドを持つ人たちと協働し、課題解決に取り組むことが不可欠です。九州大学では、そうした人材を育成するための環境や、多彩な教育プログラムを用意しています。また、多様な入学者選抜の実施や、障がい等のある入学者志願者に対する受験上、修学上の配慮の充実、本学独自の奨学制度の設置など、個々の学生を受け入れるための環境も整っています。予測困難で不確定な時代だからこそ、「総合知で社会変革を牽引」する九州大学で、一緒に学びを深めましょう。

また分野の教員の協力のもと、数学をベースとし、異分野連携を進めてイノベーションを創出してゆく数学博士人材育成のための教育カリキュラムを展開しています。こうした取組は他のプログラムにも波及しており、2025年4月に

は「人文情報連係学府（仮称）」の設置を予定。「人文学的視点」とデータ分析・人工知能などの情報学を活用できる知見の双方を備えた分野横断的な高度専門人材の育成を目指します。

海外協定大学と共同で学位を授与するジョイント・ディグリープログラムを人間環境学府と釜山大学校（韓国）との間で開始しました。ほかに、交換留学プログラムや国際大学連携コンソーシアムを通じた連携プログラム、本学専任職員が常駐する欧州拠点を紹介した教育プログラムの開拓など、さまざまなネットワークを活用した多様な取組をさらに促進していく予定です。

れる水素エネルギー研究、分離膜を用いた大気中CO<sub>2</sub>の回収技術研究通常は焼却処分される廃プラスチックについてマイクロ波を基盤とする炭素変換技術を用いて再生プラスチックに変換する技術の開発など、脱炭素社会の実現にチャレンジしています。ここに、経済学や都市デザイン学などの文系、芸術の知を融合し、これらの技術を活かした脱炭素社会の実現に向けた社会デザインにも取り組んでいます。

また、「医療・健康」では昆虫のカイコを活用したワタチンの原料としての医療用タンパク質の開発、「環境・食料」では高度センシング技術やドローンなどを活用したスマート農業による生産性や効率性の向上に取り組むなど、異分野融合で社会的課題の解決にあたっては、その他、注力している領域は、「半導体」です。

世界的半導体メーカーのTSMCの熊本県進出を契機に、いま、九州全域で新生シリコンアイランド九州実現への気運が高まっています。九州大学では、2023年12月に熊本県、熊本大学との間で半導体分野における研究推進や人材育成・確保などについて包括的な連携協定を、2024年4月には、TSMCとの間で、研究および人材育成における協力関係を発展させることを目的に、包括的な連携覚書を締結しました。また、「価値創造型半導体人材育成センター」を開設し、半導体・集積



いしほしたつろう  
石橋達朗総長  
1975年九州大学医学部卒業。81年同大学大学院医学研究科卒業。九州大学大学院医学研究院眼科学分野教授、副学長、九州大病院長などを経て2020年より現職。

九州大学は1911年の創立以来、多くの優れた研究成果や人材を社会に送り出してきました。国内最大規模を誇る伊都キャンパスは「総合科学の中核・実証実験拠点」として機能し、最先端の研究・教育をはじめ、社会実装を見据えたさまざまな実証実験を展開しています。

2021年に、2030年に向けた大学の目指す姿として「総合知で社会変革を牽引する大学」を掲げ、その実現に向けたさまざまな取組を具体化する「Kyushu University VISION 2030<sup>(1)</sup>」を策定し、先導的な大学改革を実施しています。

教育・人材育成については、九州大学がこれまで蓄積してきた「知」と「人材」を最大限に活用し、新たな社会をデザインする力と課題を解決する力を有し、グローバルに活躍できる「価値創造人材」の育成に取り組んでいます。九州大学での学びを通じて、地域社会と協働し、社会的課題の解決や、持続可能で人々の多様な幸せ（Well-being）を実現する社会づくりに共に貢献していきましょう。

# 九州大学

〒819-0395 福岡県福岡市西区元岡744 学務部入試課 TEL 092-802-2006 <https://www.kyushu-u.ac.jp/>

## 予測困難な時代だからこそ、「総合知で社会変革を牽引する大学」でともに未来を切り拓く学問を探索しよう

### 総合知の創出から社会実装まで一体的に推進

「総合知」とは、本学が持つ人文社会科学系から、自然科学系、さらにはデザイン系の「知」も組み合わせ、現代社会の複雑に絡む事象を単一の研究分野だけではなく、複数の分野の「知」を活用し、多様な視点で課題の解決に導く新しい知識や斬新な考え方を意味します。九州大学は、この複眼的な「総合知」を導き出し、社会の課題を解決して、教育・研究はもとより、社会変革に貢献する活動に取り組んでいます。

そのために、「未来社会デザイン統括本部」、「データ駆動イノベーション推進本部」、「オープンイノベーションプラットフォーム（OIP）」などの基盤組織を作り、総合知の創出から社会実装までを一体的に推進しています。このうちOIPについては、よりスピーディーに社会実装につなげることができるよう、2024年4月に外部法人化した「九大OIP株式会社」を設立しました。7月には九大OIPによる開

発法人設立支援の成果第1号として「EUVフoton株式会社」を設立するなど、社会実装への取組が進んでおり、九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター（QREC）を中心に展開しているアントレプレナーシップ教育とともに、スタートアップ設立に直に触れることができる機会を提供しています。



### 新たな社会をデザインし、課題解決する「価値創造人材」を育成

九州大学は、優れた若手研究者の育成を重要な使命と位置付け、高大接続から博士課程修了までの一体的な改革を推進する組織として2023年4月に「未来人材育成機構」を設置しました。プログラムの枠を超えた情報やリソースの共有、グッドプラクティスの他への応用や新たな教育モデルの開発などを組織的に推し進めています。

さらに、価値創造人材の育成として、社会の複雑な課題を解決できる能力を養うため、文理融合教育についても取り組んでいます。

その一つが、大学院における文理融合型学位プログラムのフラッグシップモデル「マス・フォア・イノベーション卓越大学院プログラム」です。このプログラムでは、研究科等連係課程の枠組みを利用したマス・フォア・イノベーション連係学府（数理学府、システム情報科学府（経済学府）を中心に、学内のさまざま